

県下の交通事故

(平成11年1月10日現在)

年別	区分	発生件数	死者	傷者
平成10年		115件	1人	147人
平成11年		141件	3人	207人
比較		+26件	+2人	+60人



◇ 第126号 ◇
 発行所 甲府市丸の内一丁目9-11 県民会館2階
 〒400-0031
 財団法人 山梨県交通安全協会
 山梨県交通安全活動推進センター
 TEL 甲府 (055) 232-4682
 (055) 237-7827

迎春



初春 富士の曙 広瀬正巳氏撮影

明けましておめでとうございます。皆様方にはお健やかに新春をお迎えにいられたことと、心からお慶び申し上げます。日頃皆様方には、私ども交通安全協会の運営と交通安全活動に深いご理解とご支援を賜りまして、衷心よりお礼申し上げます。昨年私どもは、交通事故死者数の「二桁抑え込み」を最重点課題として各種事故防止の徹底

交通安全を確立するため、交通事故の減少、特に「交通事故死者数二桁抑え込み」を最重点課題とし、県警察のご指導をいただきながら、関係機関・団体をはじめ県民の皆様と協力し

○交通安全指針に基づく体系的な交通安全教育の推進
 ○歩行者、自転車利用者、特に高齢者子ども



山梨県交通安全協会会長 志村 哲良

交通事故減少で明るい年に

止活動を積極的に推進してまいりましたが、死者数は百八人で、その目標を達成することができませんでした。また、交通事故発生件数も過去最高を記録したことは残念至極であります。本年も交通情勢は更に厳しさを増していくものと考えられます。私ども交通安全協会は、命の尊さと交通事故の重大性を深く認識し、安全で快適な

○飲酒運転追放活動の推進
 ○反射材着用の促進
 等の諸対策を強力に推進して参ります。皆様方のなお一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

輝かしい平成十一年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。県民の皆様におかれましては、平素から家庭、職場、地域で交通事故防止に大変なご尽力をいただいておりますことに対して、心から感謝申し上げます。さて、最近の交通情勢は、都市部を中心とする慢性的な交通渋滞や道路交通騒音、自動車交通に起因する大気汚染、地球温暖

昨年交通事故の特徴を見ますと
 ・若者と高齢者の事故
 ・酒酔い、速度違反など悪質違反による事故
 ・車両単独による事故
 ・シートベルトの着用率が低く、着用していれば命は助かったと思われる事故などが多かったことが挙げられます。

交通死亡事故減少対策にご協力を



山梨県警察本部長 中林 英二

化問題、交通事故の多発等、国民生活に深刻な影響を与える問題が山積しているところであります。このような情勢の中において、昨年の本県における交通事故による死者は、百八人で三年連続して百人を超えるとともに、交通事故発生件数も統計史上最悪を記録した一昨年を上回るという厳しい状況となりま

県警察といたしましては、このような厳しい情勢下において、「交通死亡事故減少対策の推進」を活動重点の一つに掲げ、指導取締りを行うほか関係機関・団体とともに県民一人一人の交通安全意識の高揚を図って参りたいと考えております。県民の皆様のお一層のご協力をお願い申し上げます。

市川安協・全国表彰を受賞

第三十九回交通安全国民運動中央大会

一月十一、十三日の両日「第三十九回交通安全国民運動中央大会」が東京日比谷公会堂で開催されました。

この大会は、全日本交通安全協会と都道府県交通安全協会の主催、総務庁、文部省、運輸省等六省庁二団体の後援によるもので、第一日は「分科集会」、第二日は「本会議」が開かれました。

全国各地で交通事故防止活動に取り組んでいる約六百人が出席し、地域家庭部会、交通安全教育部会、企業部会の三部会に分かれて、日頃の活動状況をもとにした意見発表が行われました。

続いて平成十一年の活動のすそめ方について協議し、これを踏まえて「大会宣言」(別掲)を採択しました。

常陸宮・同妃両殿下をお迎えし、内閣総理大臣、衆・参両議員議長等来賓をはじめ、前日の分科集会出席者等約二千人が出席して開かれました。

はじめに交通安全功労者等約二十人が表彰され、次に常陸宮殿下からお言葉をいただいたのち来賓祝辞が行われました。

このあと交通栄誉章、緑十字金章・銀章の授与、優良団体等の表彰、交通安全協理事、宮川 陸 武

交通栄誉章に輝く人びと

(金章)
交通安全功労者



宮川陸武氏

(銀章)
交通安全功労者



小沢照彦氏

優良運転者



渡辺喜信氏

交通安全功労者



河口森子氏

優良運転者



湯山喜六氏

交通安全功労者



長田誠司氏

優良運転者



野中秋光氏

交通安全功労者

交通安全を祈願 県安協



交通事故減少を祈願 武田神社

県交通安全協会では、一月十一日、武田神社で今年の交通安全を祈願しました。

当日は、県警交通部幹部、県安協の役員、交通機動隊員、高速道路交通警察隊員ら八十人が参加しました。

拝殿では、依田交通部長と山下副会長がまぐしを捧げ、一同これに合わせて、平成十一年の交通事故減少を祈願するとともに、交通安全の諸活動にも一層の努力をしていく決意を新たにしました。

宣言

平成十年中の交通事故による死者は、関係方面の懸命な努力の結果、九千二百一十一人と平成八年以降三年連続して一万人を下回った。

しかしながら、発生件数及び傷者数は増加傾向にあり、依然として厳しい状況が続いている。

ここに第三十九回交通安全国民運動中央大会を開催するに当たり、生命の尊厳と交通事故の重大性を深く認識し、安全で快適な交通社会を確立するため、関係機関・団体をはじめ道路交通の場に参加する全ての人々と協力し、全国の地域・家庭・学校、職場において、次の諸対策を強力に推進することを誓う。

- 交通安全指針に基づく体系的な交通安全教育の推進
- 歩行者、自転車利用者、特に高齢者と子供等の交通事故防止活動の徹底
- シートベルト・チャイルドシートの着用の徹底

平成十一年一月十三日
第三十九回交通安全国民運動中央大会

平成11年 交通安全年間スローガン 最優秀作 (内閣総理大臣賞)

運転者 (同乗者も含む) 向け
広げよう ゆとりと視野と 車間距離

歩行者・自転車利用者向け
迷ったら 渡るな走るな 次を待て

子ども部門
小さな手 大きくみせて わたろうよ

平成11年 交通死者は108人

死者は二人減、件数・傷者は増加

平成十年中の県内の交通事故発生状況は、発生件数 六、五八四件、死者数 一〇八人、負傷者数 八、七二六人であった。

発生件数と負傷者数は前年比一〇〇件、七七人と増加していますが、死者数は一人減少しています。

全国の死者数は、九、二一一人で、三年連続して一万人を下回り、さらに前年比で四二九人の減少となっています。

原因は、スピードの出過ぎや前方不注意などがほとんどでした。

運転者、歩行者一人ひとりが心を引き締めて交通安全に徹し、今年こそ交通安全活動の当面の目標である年間死者数二桁台への抑え込みを実現したいものです。

事故減少に奮起を誓う

県交通安全協会役員会



役員会の状況

県交通安全協会では、二桁に抑え込むことができず、残念だった。今年こそは、二桁への抑え込みを実現したい。「そのためには役員自ら効果的な交通安全活動の企画し、これを、関係機関・団体をはじめ道路交通の場に参加する全ての人々と一体となって、押し進めていくことが必要だ。」と強調しました。

続いて議事に入り、始めに補正予算案を審議してこれを可決したあと、平成十一年中の交通安全活動の進め方について協議し、年間の重点推進事項として、中央大会宣言に示された三項目(上掲)のほか

- 飲酒運転の追放
- 反射材の着用の促進

の二項目を加えた五項目を決議しました。

謹賀新年

平成十一年中の交通事故が減少することを願い一層の努力をしたいと思います。今年もよろしく願います。

財団法人 山梨県交通安全協会

- | | | | |
|------|-------|-----|------|
| 会長 | 志村哲良 | 副会長 | 山下道男 |
| | 秋山登 | | 八木吉治 |
| | 植野友規 | | 山寺嘉郎 |
| 専務理事 | 奈良田幸夫 | | 横森保貴 |
| 常務理事 | 横森保貴 | | 上橋七六 |
| 他理事 | ・評議員 | | 同 |